

EU Indicators

発表日: 2018年11月26日(月)

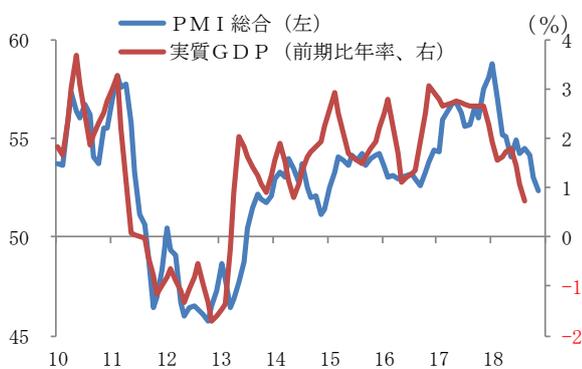
欧州経済指標コメント: 11月ユーロ圏PMI速報

～10-12月期の成長リバウンドに黄信号～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理 (Tel: 03-5221-4527)

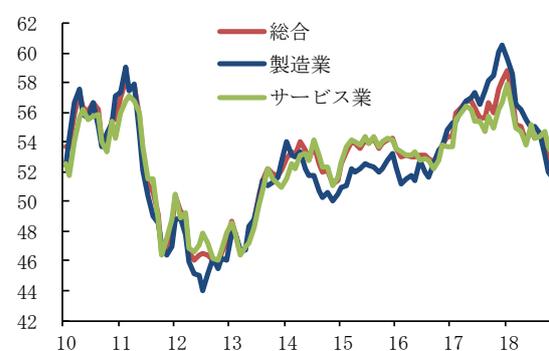
- 11月のユーロ圏のPMI総合指数の速報値は52.4と前月から0.7ポイント低下。好不況の分岐点である50を上回っているが、改善モメンタムの鈍化が一段と加速し、2014年12月以来の低水準を記録した。発表元のIHS Markitによれば、これを10-12月期のユーロ圏の実質GDP成長率に引き直すと、前期比+0.3%ペースに相当。自動車の新排ガス試験関連で7-9月期の成長率が大幅に下振れしたが、10-12月期入り後のリバウンドも予想以上に緩慢。製造業で先行していた業況判断の冷え込みが、徐々にサービス業に波及しており、先行きの回復加速に暗雲が広がっている。
- 国別・業種別には、ドイツとフランスの製造業・サービス業が揃って前月から低下。ここから両国を除くユーロ圏も製造業・サービス業ともに前月から低下した見込み。ドイツとフランスの製造業PMIはともに50割れに接近。製造業PMIの内訳は、ドイツとフランスともに新規受注が50割れ、なかでも輸出受注の冷え込みが目立つ。製造業の雇用判断は、昨年末時点で60を超えていたドイツが11月に54.4まで低下し、フランスは49.2と2016年10月以来の50割れを記録。サービス業の雇用判断も、過去3ヶ月の55超えから11月は53.8まで低下。ユーロ圏のサービス業活動指数は、年始対比で4.8ポイント低下。水準はなお高いが、サービス業の業況判断も徐々に慎重化。

■ユーロ圏：PMI総合と実質GDP



出所: IHS Markit、欧州統計局

■ユーロ圏のPMI



出所: IHS Markit

■購買担当者指数 (PMI、季節調整済み)

		2017				2018											
		4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
ユーロ圏	総合産出指数	57.2	57.0	54.7	54.3	57.1	55.2	55.1	54.1	54.9	54.3	54.5	54.1	53.1	52.4		
	製造業購買担当者指数	59.7	58.2	55.6	54.3	58.6	56.6	56.2	55.5	54.9	55.1	54.6	53.2	52.0	51.5		
	サービス業業況指数	56.0	56.4	54.5	54.4	56.2	54.9	54.7	53.8	55.2	54.2	54.4	54.7	53.7	53.1		
ドイツ	総合産出指数	57.6	57.2	54.2	55.2	57.6	55.1	54.6	53.4	54.8	55.0	55.6	55.0	53.4	52.2		
	製造業購買担当者指数	62.2	60.0	57.0	55.5	60.6	58.2	58.1	56.9	55.9	56.9	55.9	53.7	52.2	51.6		
	サービス業業況指数	54.9	55.5	53.2	55.0	55.3	53.9	53.0	52.1	54.5	54.1	55.0	55.9	54.7	53.3		
フランス	総合産出指数	59.1	57.7	55.4	54.4	57.3	56.3	56.9	54.2	55.0	54.4	54.9	54.0	54.1	54.0		
	製造業購買担当者指数	57.5	56.0	53.6	53.1	55.9	53.7	53.8	54.4	52.5	53.3	53.5	52.5	51.2	50.7		
	サービス業業況指数	58.9	57.8	55.9	55.0	57.4	56.9	57.4	54.3	55.9	54.9	55.4	54.8	55.3	55.0		

出所: IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

